

平成 22 年 7 月 20 日

農林中央金庫

**森林組合トップセミナーおよび
森林再生基金（FRONT80）助成先第 4 回事業発表会の開催について**

1 開催趣旨等について

- (1) 農林中央金庫は、全国森林組合連合会との共催により森林組合トップセミナーを開催するとともに、森林再生基金助成先による事業発表会を併催いたします。
- (2) 本件は、森林組合系統の経営層によるリーダーシップ発揮をより強固なものにしていくことを目的に開くもので、今回 4 回目の開催となるものです。基調講演として梶山恵司氏（内閣官房国家戦略室内閣審議官）をお招きし、森林組合が今後進むべき方向についてお話いただく他、コンプライアンス講演、特別講演を行います。
- (3) また、当金庫が平成 17 年に創立 80 周年を契機として設定した「公益信託 農林中金 80 周年森林再生基金（FRONT80）」の第 4 回目の助成先による事業発表を行います。この公益信託は、信託財産 10 億円、期間 10 年程度とし、1 年あたり 1 億円程度を助成することにより、国内の荒廃した民有林を再生する事業・活動に対する支援を通じて、社会貢献事業に取り組むものです。当該取組は、もともと民有林を再生する非営利の団体を支援し、そのアイデアを広く一般に紹介することを目的のひとつとしており、この発表会もその一環で開催するものです。
- (4) 今回、報道関係の皆様は、森林組合トップセミナー・森林再生基金事業発表会（29 日のみ）の模様を公開いたしますので、以下のとおりご案内いたします。

2 日程・場所・出席者

- (1) 日程：平成 22 年 7 月 29 日（木）13 時 30 分～30 日（金）12 時
- (2) 場所：グランドプリンスホテル赤坂 別館 5 階 「ロイヤルホール」
（東京都千代田区紀尾井町 1-2）
- (3) 出席者：全国の森林組合・都道府県森林組合連合会の経営層、森林再生基金関係者等

3 森林組合トップセミナー・森林再生基金事業発表会の概要

- (1) 基調講演（29 日 14 時～15 時）
 - a 講師：梶山 恵司氏（内閣官房国家戦略室内閣審議官）
 - b 内容：内閣官房国家戦略室内閣審議官としてご活躍されている梶山恵司氏より、「森林・林業再生プラン」の実践に向けたご講演をいただきます。今後の森林・林業政策における森林組合系統の役割等、今後の取組みに大いに参考いただける内容です。

(2) 森林再生基金第4回助成対象先による発表 (29日 15時15分～17時)

助成対象先	事業概要
とやまけんせいぶ 富山県西部森林組合 (富山県) 対象地面積 87ha	当地域では、古くから里山の天然広葉樹林を薪炭用材として活用してきたが、戦後の燃料革命により、これらは放置され、樹齢60年生にも達し、萌芽能力は低下し、クマザサの繁茂もあり、里山広葉樹林の再生が大きな課題である。 当事業では、富山県森林研究所の協力の下、里山林を守り育てる従来のシステムが機能不全になる前に、伐採木は菌床栽培用オガ粉として活用しつつ、他の模範となる新しい循環システム(20～30年サイクル)のモデル地区を設定し、活力ある里山広葉樹林の再生を目指す取組みを行う。
まつさかいいなん 松阪飯南森林組合 (三重県) 対象地面積 56ha	当地域は、元々林業が盛んな松阪市飯高町の蓮(はちす)ダムの上流域にあるが、奥地で、急傾斜地であることに加え、木材価格の低迷、後継者問題等から間伐等の整備が放棄されている森林が増加している。 当事業では、作業道と高性能林業機械(スイングヤーダ、プロセッサ)の組合せによる低コスト(未利用材を含めたトータルコスト)作業システムの確立、そのコスト分析を行い、これらの成果の管内全体への波及を目指す取組みを行う。
いぎす 生栖生産森林組合 (兵庫県) 対象地面積 65ha	当組合においては、従来は皆伐・再造林の経営を行っていたが、鹿による植栽木の食害、木材価格の低迷、組合員の高齢化等により、皆伐を回避し、高齢級の大径優良材生産に経営方針を転換しているが、そのためには、長年継続的に使用できる安心、安全の高密度路網の整備が必要である。 当事業では、兵庫県指導林家会とも連携して、半ば見放されていた急峻な地形である当団地において、大橋式の「壊れにくい作業道」を開設し、高密度路網による低コスト団地化を図り、持続可能な林業経営を確立し、地域のモデルとしての普及を目指す取組みを行う。
にちなんちよう 日南町森林組合 (鳥取県) 対象地面積 267ha	当町は、戦後、精力的に造林に取り組み、現在では、林齢約40年生を中心に、人工林面積は18,000ha、年間成長量は12万m³となり、年間8万m³の木材(丸太換算)を生産できる資源状況となっているが、実際には、切捨て間伐が6割にも及んでいる。 当事業では、高性能林業機械の導入による低コスト林業を確立し、利用間伐率を60%に引き上げ、「定量」、「定品質」、「定価格」の3つの定をテーマに、安定的に木材を生産し、地元で操業を開始したLVL工場に安定供給することで、森林から安定した収入を得て、その収入により森林整備を行う循環型林業地の形成を目指すためのモデルとする取組みを行う。

(3) コンプライアンス講演 (30日 9時15分)

a 講師：黒羽 徹 農林中央金庫コンプライアンス統括部長

b 内容：森林組合組織の改革を進めるためには、組織としての経営の透明性の確保や経営層のコンプライアンス意識の向上が不可欠です。農林中央金庫コンプラ

イアンス統括部長より、今後の森林組合系統の経営層に求められるコンプライアンスについて講演いたします。

(4) 特別講演 (30 日 10 時 30 分)

a 講師： ^{あたらし}新 ^{まさみ}将命氏 (㈱国際ビジネスブレイン代表取締役)

b 内容：「組織を伸ばすリーダーの条件」

特別講演として、日本コカ・コーラ㈱, ジョンソン・エンド・ジョンソン㈱等の外資系企業で 40 年に渡る経験を積み、欧米の経営手法に日本的経営の長所を加味した独自の経営論が好評の「新 将命」氏 (㈱国際ビジネスブレイン代表取締役) に「組織を伸ばすリーダーの条件」についてご講演いただきます。

【講師紹介】1959 年早稲田大学卒業後、シェル石油㈱入社。69 年より日本コカ・コーラ㈱へ。関西営業部長、市場開発部長等を歴任。78 年よりジョンソン・エンド・ジョンソン㈱へ。常務取締役・専務取締役を経て、82 年に代表取締役社長就任。90 年に 4 期 8 年の任期を経て、同社取締役社長を退任。同年、㈱国際ビジネスブレインを設立。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 広報部 (Tel 03-5222-2017)

(報道関係の皆様へ) 会場準備の都合上、当日の取材を希望される場合には、**7 月 23 日 (金) 15 時までに**上記問合せ先までご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。